

様式 1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）

令和 1 年 1 0 月 2 5 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒163-1105

住所 新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー5階

事業者名 フランスベッド株式会社

担当者所属 メディカル商品企画課

担当者名 山内 閑子

電話番号 03-6894-2350

電子メールアドレス yamauchi_nodoka@francebed.jp

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」「**試作機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書（別紙）
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書（別紙）」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なご協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

令和元年10月25日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

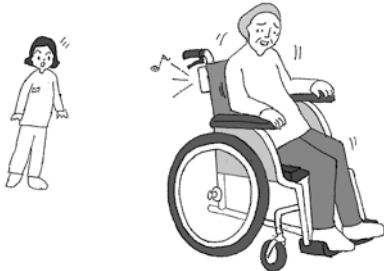
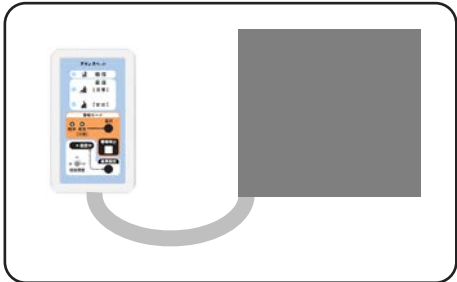
1. 希望する事業の種類 (いずれかに○印を記入してください。)

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	
2. 試作機器へのアドバイス支援事業	○

2. 依頼者(企業)の概要

企業名	フランスベッド株式会社		
担当者名	山内 閑子		
担当者連絡先	住所	〒163-1105 東京都 新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー5階	
	電話	03-6894-2350	
	電子メールアドレス	yamauchi_nodoka@francebed.jp	
主たる業種	介護関連商品の製造販売および福祉用具貸与事業の展開		
主要な製品	介護ベッド、車いす、歩行器		
希望する施設等の種類や職種等	介護福祉施設、病院、在宅		
その他			

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作機器等の概要 (可能な限り詳しく記入してください。)

機器の名称(仮称)	座り姿勢お知らせセンサー	
試作機器の有無及び機器のコンセプト(試作機器あれば写真を添付)	試作機器の有無	1. 有り 2. 無
	機器の目的及び特徴 開発中の「座り姿勢お知らせセンサー」は、車いすクッション内に入れたセンサーシートで車いす使用者の座位測定し、見守りを行うとともに、姿勢の傾きの程度から座り直しのタイミングを音でお知らせします。現在お使いの車いすクッションにそのまま使用することができ、利用者の方に合わせて感度と基準点の調整を行うことができます。従来の車いすセンサーとは異なり、離席に加え着座時の姿勢崩れも測定し、警報(リモコンブザー)を出すことができます。センサーが反応する姿勢は横への崩れ、仙骨座り等基準点から外れた姿勢になります。 座っている姿勢が良いか見た目だけではなく、センサーを用いて判断することができるため、介護者が気づきづらい車いす利用時の座姿勢の崩れも、早い座り直しができるため、車いすからの転落や変形、褥瘡の予防につながります。	
	 図1. 機器使用イメージ  図2. 機器イメージ	

想定する使用者及び使用方法、使用場面	①想定する使用者 車いす利用方で、座位保持の難しい方 ②想定する使用方法 在宅や施設等で車いすに座っている方を常に見守っていなくても、センサーが座位姿勢の崩れを知らせ介助者の方が姿勢を直す目安とすることや、シーティング時の座位の確認等を想定しております。 ③想定する使用場面 室内での車いす使用時
現在の開発状況と主な課題	センサーシートにより圧力の均等な点を測定することは可能だが、どのような姿勢が基準として適切か。 警報はリモコン内のブザーで行うが、音量等は妥当かどうか
特にアドバイス（意見交換）を希望している事項	開発者を含めたワークショップ形式での話し合いを希望致します。ワークショップ当日は試作品を持参致します。 実際に座位保持の難しい方にどのような問題点があるか、在宅と施設の要求機能の違い、対象者の適応範囲、センサー感度、使用感、リスク特定、効果的な活用方法、製品仕様等のご意見を頂きたいと思います。
その他	

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

いままでなかった毎日をつくる。



COMPANY PROFILE

創造と革新により、
「豊かさとやさしさ」のある
暮らしの実現に貢献する
ヒューマンカンパニーを目指します。

世界的に急速に進展する高齢化へ向けて、 豊かさとやさしさのある暮らしを実現します。

平均寿命、高齢化率、高齢化速度とも諸外国に比べて最も高い水準にある日本は、世界一の高齢社会を形成しています。

この高齢社会の中でますますニーズが高まる介護・医療・健康関連などの分野において、私たちは、暮らしを支え、人生を豊かにするような商品やサービスを開発するため、製販一貫体制を活かして日々取り組んでいます。

今後、日本につづいて高齢化率の高いヨーロッパ諸国や、高齢化が急速に進むアジア諸国などにも通用する世界標準化を目指すとともに、「豊かさとやさしさのある」高齢社会の実現に貢献してまいります。

フランスベッド株式会社
代表取締役社長

池田 茂



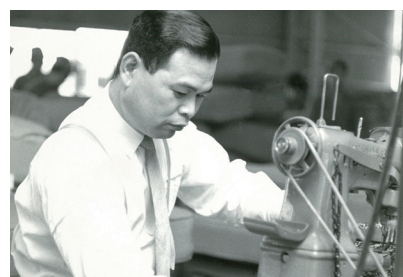
FRANCEBED
IMPERIAL

フランスベッド
フランスベッド株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
フランスベッドビル
TEL 03-5561-1111
FAX 03-5561-1112
E-MAIL info@francebed.co.jp
www.francebed.co.jp

いままでなかった毎日をつくってきた、
フランスベッド。

● 1949年 はじまりは1949年、「双葉製作所」。

1949年（昭和24年）創業者の池田實は東京都三鷹市に小さな町工場「双葉製作所」を設立しました。スクーター用シートの製造を開始した、この会社が現在のフランスベッド株式会社のはじまりです。



● 1956年 日本初の分割式ベッドづくりに成功。インテリア事業のはじまり。

1956年（昭和31年）当時は珍しかったベッドづくりに挑戦するため、欧米のベッドづくりを猛勉強しました。骨格や生活様式の違いなど、日本人と欧米人の違いに気づき、必要なのは日本人に合うベッドだと考え、すすめられたベッドづくり。ふとん文化が主だったこの時代に前例のないゼロからのベッドづくりは見事に成功、日本初の分割式ベッド「フランスベッド」が誕生しました。戦後まだ洋風の生活様式が浸透していなかった日本に、若者たちを中心に生活の洋風化が進む時代の先駆けとして、ベッドのある生活を持ち込み日本全国に浸透させました。フランスベッドが、ベッドのパイオニアとなった瞬間でした。これが、現在のインテリア事業のはじまりでした。



**なぜ、
フランスベッドという
社名なのか？**

フランスに關係する会社と思われることも多いですが、日本の会社であるフランスベッド。なぜこの社名になったのでしょうか？これは、もともと日本初の分割式ベッドができたとき、商品名を社内公募で「フランスベッド」と名付けたことがきっかけでした。当時は、海外旅行が自由化する前で、映画やファッションを通じて知る「フランス」は憧れの場所でした。ということもあり、「フランスベッド」は大ヒット。後に会社名として使用されるまでになりました。

● 1983年 福祉用具レンタルをはじめたのもフランスベッド。

1983年（昭和58年）福祉用具レンタルをはじめたのもフランスベッドでした。きっかけは「介護用ベッドを使っていた母が亡くなったのでベッドを引き取ってもらえませんか？」という購入した療養ベッドが3ヶ月で不要となったお客様からの相談でした。「必要な期間だけレンタルする」という今では当たり前になった福祉用具のレンタルを介護保険制度が始まる20年以上も前から日本で初めてスタートさせていたのです。また保険制度制定時には、福祉用具が介護保険の適用になるように働きかけ、介護保険で福祉用具をレンタルできる環境を作ったのもフランスベッドでした。これが、現在のメディカル事業（当時のフランスベッドメディカルサービス株式会社）のはじまりとなっています。



● 2004年 フランスベッドホールディングスを設立。

2004年（平成16年）インテリア健康事業とメディカルサービス事業、それぞれの経営資源を有効活用し、更なる発展を図るためにグループ経営をスタートさせました。純粋持株会社フランスベッドホールディングス株式会社を設立し、フランスベッドに代わって、東証一部に上場しました。



フランスベッドホールディングス株式会社
FRANCE BED HOLDINGS CO., LTD.

● 2009年 2つの会社がひとつのフランスベッドへ。

2009年（平成21年）インテリア健康事業、メディカルサービス事業の両分野において、商品開発力を一層強化し、お客様にとってよりよい商品、サービスを提供していくために、フランスベッドとフランスベッドメディカルサービスを合併。「新フランスベッド」として新たなスタートをきりました。



● 2011年 アクティブシニア向けブランド「リハテック」発表。

2011年（平成23年）毎日の生活をより活動的に快適にするために。高齢者の日常生活と健康を応援するブランド「リハテック」が生まれました。

リハテック
Reha tech

ものづくりからサービスまで、
一貫して行えること。それがフランスベッドの強み。

メディカル事業

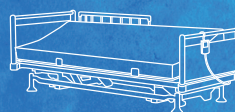
Medical

個人のお客様向け

- 福祉用具レンタル・販売
- 在宅医療機器レンタル・販売
- 住宅改修サービス
- ネット通販

法人のお客様向け（医療・福祉施設）

- 医療・福祉施設の環境づくり
- リネンサプライ事業



リハテック事業

Rehatech

- リハテックショップ

個人のお客様向け

- 家庭用家具類の製造・開発
- 家具店・百貨店等小売への卸売
- ショールーム・PRスタジオの運営

法人のお客様向け（ホテル・宿泊施設）

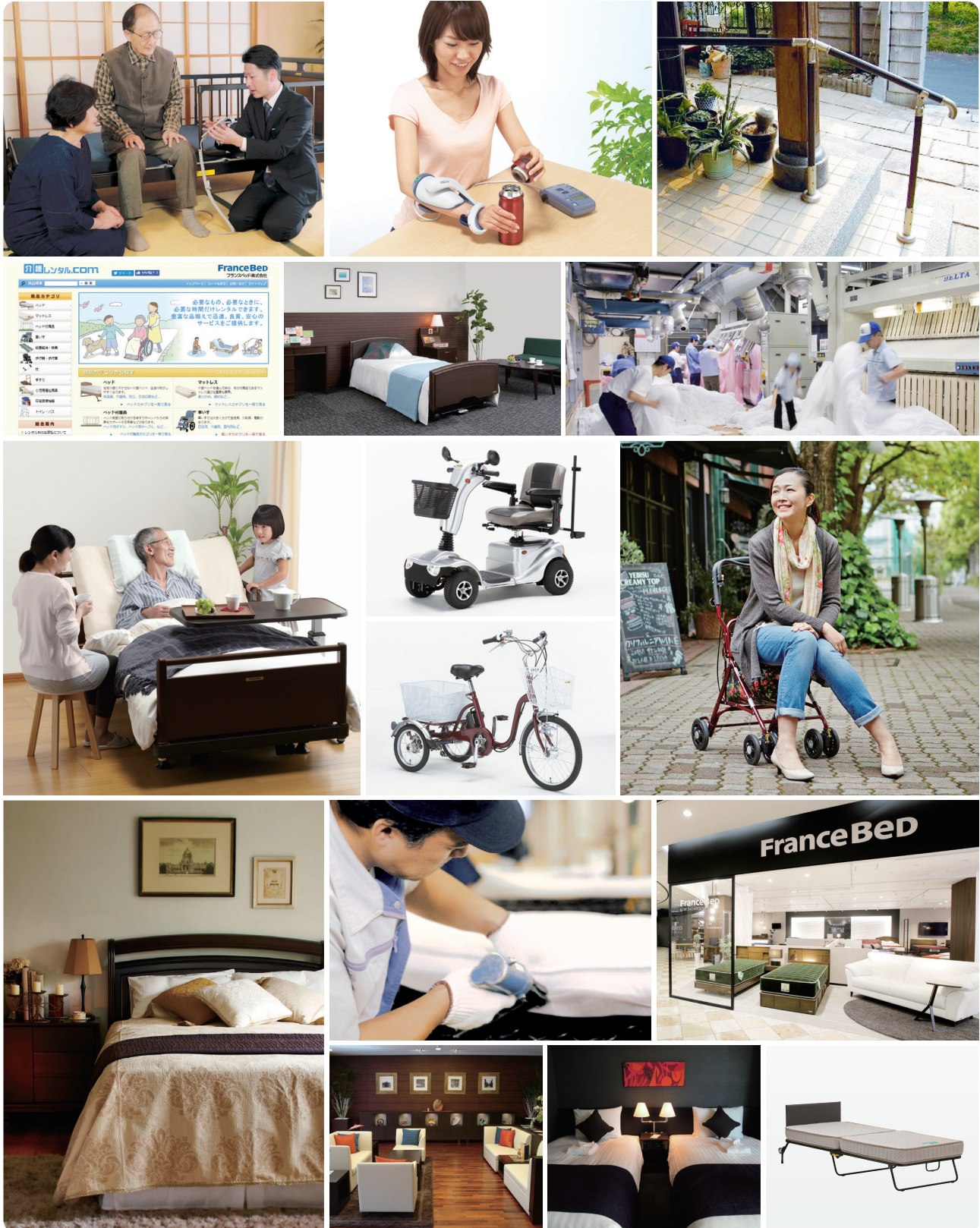
- ホテルインテリアプロデュース
- ホテルソリューション事業
- ホテルベッド・レンタル事業



インテリア事業

Interior

フランスベッドの事業領域は、メディカル、インテリア、リハテックの各事業を通じて、ものづくりから、販売、レンタル、ショールームやネットショップの運営、ホテルインテリアのプロデュースなどのサービスまで多岐にわたります。幅広い事業領域で、ものづくりからサービスまで一貫して行えること、それがフランスベッドの強みです。



Medical 医療事業

福祉用具のレンタルから住宅改修サービスまで在宅ケアを多角的にサポート。

フランスベッドでは、福祉用具や在宅医療機器のレンタル及び販売を、経験豊かな専門スタッフを介して行っています。また、住宅改修サービスのご提供など、より快適な在宅ケアをサポートするサービスを多角的に展開しています。



福祉用具レンタル・販売

安心してお使いいただける良質な商品を幅広く取り揃え、経験豊かな福祉用具専門相談員がおひとりおひとりに適した商品選びをお手伝いしています。



在宅医療機器レンタル・販売

住み慣れた家庭や地域で在宅療養される方やご家族が、快適に自分らしく前向きに生活できるようお手伝いしています。



住宅改修サービス

手すりの取り付けから大がかりな住宅改修まで、自立や安全性の向上をベースとしたリフォームをご提供しています。

介護用品、福祉用具、アクティブシニア向け商品などの販売を行います。

介護用品・福祉用具から健康サポート商品、アクティブシニア向けブランドリハテック商品などの販売を店舗、インターネットなどで行っています。店舗では介護相談やケアプランの作成など様々な相談を承ったり、健康に関する多彩なセミナー・イベントも開催しています。



リハテックショップ

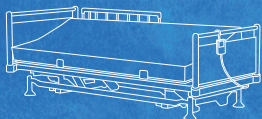
シニアの皆さまの活動的な毎日をサポートし、生活の質や自立度を高めていく「リハテック」ブランドの商品を中心に展示販売。介護や住宅リフォームなどのご相談も承っています。



ネット通販ショップ

「介護レンタル.com」 「介護宅配便」

介護用品のレンタル・販売をインターネットから、いつでも簡単にご注文いただけるサービスを展開しています。



医療・福祉施設の安全で快適な環境づくりをお手伝いします。

フランスベッドでは、医療・福祉施設のお客様からの安全に対するご要望を踏まえ、製品のさらなる安全性の向上を図る設計・開発に全力をあげています。また、いち早く医療・介護ベッドに家庭的なデザインや素材を取り入れ、従来無機質であった医療・福祉施設の空間に温かみを添えてきました。療養生活においてインテリアが与える心理的な効果にも配慮し、より質の高い医療・福祉環境の実現をお手伝いいたします。

医療施設 向けの製品



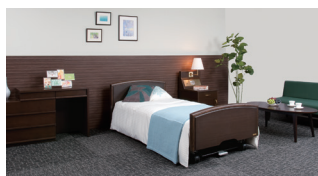
福祉施設 向けの製品



安全快適な 空間づくりの 提案



【多床室提案】 コミュニケーションとプライバシーの両立に配慮した多床室をご提案。



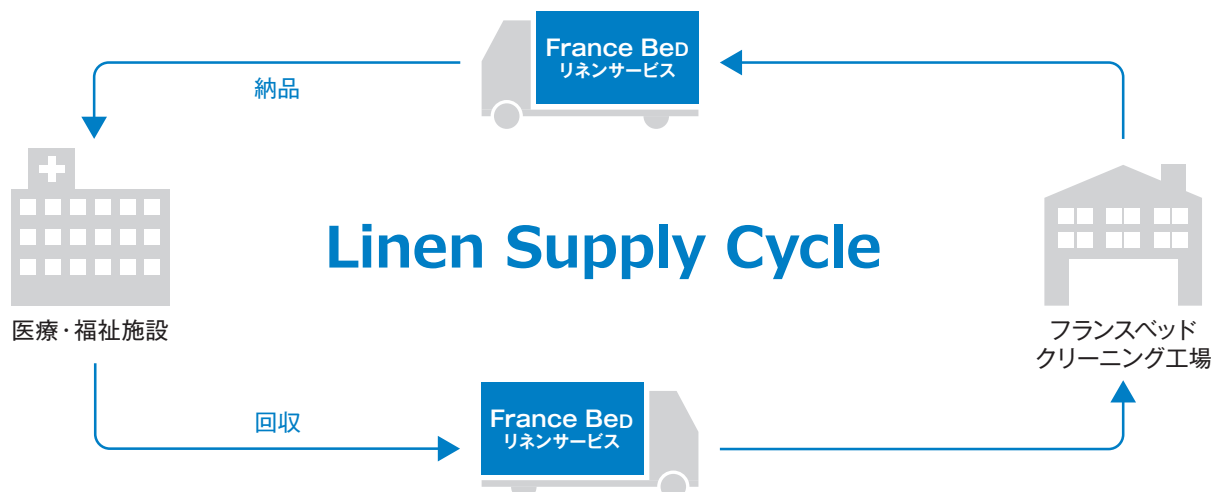
【個室・特別室提案】 温かみがあり、心から寛げ、治療的效果にも配慮した個室・特別室をご提案。



【ロビー・食堂空間】 スペース、人数、動線などに配慮した利便性の高いロビー・食堂空間をご提案。

医療・福祉施設の衛生と安全をサポートするリネンサプライ事業。

フランスベッドでは、医療・福祉施設に清潔で安全なリネンを提供するサービスを行っています。すべてのリネンは、消毒施設を完備したクリーニング工場で迅速・丁寧に仕上げています。工場は厳しい衛生基準を満たし、「医療関連サービスマーク認定工場」に指定されています。最も衛生が要求される医療・福祉施設向けリネンをここからお届けしています。



フランスベッド、だからできる ものづくり。

メディカル・リハテック・医療・福祉施設

ベッドが使う人のカラダにあわせる、という発想。

「マルチフィットベッド」



使う人のカラダに合わせることが可能な、フィッティングをコンセプトにした「マルチフィットベッド」。今までなかった、ベッドが人にあわせるという新しい考え方から生まれました。機能性とシンプルなデザインを両立した介護ベッドとして、1台のベッドで利用者の身長やお部屋の大きさに合わせてマットレスサイズを3サイズに調整できるマルチフィットボトムを採用しました。使う人のことをいちばんに考えることで、これまでなかった製品を生み出しました。

介護する人、される人の両方をラクにしたいという想い。

「自動寝返り支援ベッド」



「自動寝返り支援ベッド」は介護する人、される人の両方をラクにしたいという想いから誕生しました。

介護する人にとって寝たきりの方の床ずれ予防のために、昼夜問わずに体位変換をすることがとても身体的に負担になっていました。逆に介護される人にとっては、体位変換の度に目が覚めることが多く睡眠の妨げになっていました。それぞれのこの負担を解消するために「自動寝返り支援ベッド」を開発。タイマー設定による自動運転で寝返りサポート、体位変換をベッドに任せることで想いをかなえることができました。

どうすれば転ばないようにするか、常識を変えた車イス。

「転ばないイス」



どのようにしたら前に転ばないのか、後ろにひっくり返らないのかを考え抜いてできた車イス、「転ばないイス」。

ブレーキをかけ忘れたまま立ち上がったまま、自動的にブレーキがかかるので、後方への転倒も予防。また、解除しない限りブレーキはかかったままなので、急に座っても安心。認知症により自身のリスク管理が難しい方の安全を守るとともに、介護者の不安や負担を軽減します。

「人にやさしい」ものづくりから生まれたブランド、リハテック。

リハテック
Reha tech

毎日の生活をより活動的に快適にするために。安心、安全、使いやすい。
高齢者の日常生活と健康を応援するブランド「リハテック」は生まれました。



医療・福祉施設向け製品の開発。

医療・福祉施設での安全やリスク対策はもとより、看護・介護負担軽減や離床促進・自立支援などの高機能製品、リハビリ支援や認知症向けの製品、そして快適な療養空間づくりまでを行っています。

ベッドが療養者の状態を見守ることで介助負担を軽減する、ベッド内蔵型の見守りロボット「見守りケアシステム M-2」。誤って転落した場合のリスクを軽減する「超・超低床フローアーベッド」など医療・福祉施設向けの様々な製品を開発しています。



「見守りケアシステム M-2」をベッドに内蔵



超・超低床フローアーベッド

インテリア事業

家具インテリア業界のトップメーカーとして暮らしのお手伝いを。

フランスベッドでは、快適な眠りをお届けするベッドはもちろん、リビングソファ、ダイニングセットといったインテリア家具全般から健康機器まで、豊かで健康的な生活を演出する付加価値の高い製品を開発しています。家具インテリア業界のトップメーカーとして、国内のみならず海外市場も視野に入れ、健康や睡眠、ライフスタイル、環境への配慮など、様々な視点から高付加価値製品を消費者市場に提案し、豊かさを実感していただける暮らしのお手伝いをしています。



【赤坂ショールーム】国内外から厳選された至高の逸品を体感。



【スランバーランド】三度の英国王室御用達の称号を授かった。



【フィアバ】本革を贅沢に使用したラグジュアリーモダンベッド。



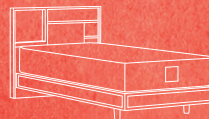
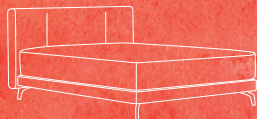
【エルボ】ドイツを代表するソファの最高峰ブランド。



【エゼックス】インテリアになじむ洗練されたデザインのリクライニングベッド。



【海外展示会】MIFF2017 (Malaysian International Furniture Fair)



快適で上質なホテルのインテリアを、企画からトータルにプロデュース。

長年培った快適な空間づくりのノウハウを活かし、ホテルのトータルプロデュースを行います。ベッドやインテリアの納入はもちろんですが、客室やロビーのデザイン・設計・施工、インテリアのコーディネートまで、効果的な空間演出をホテルのコンセプトに合わせてプロデュースします。



ホテルソリューション事業

ホテルが抱える様々な課題を、フランスベッドの豊富な経験で解決する事業を展開しています。



ホテルベッド・レンタル事業

必要な時に、必要な分だけホテルベッドをレンタルできるサービスを全国で行っています。

フランスベッド、だからできる ものづくり。

インテリア

独自の技術で生産「高密度連続スプリング® マットレス」。

「高密度連続スプリング® マットレス」は、厳しい品質管理のもと国内で唯一、フランスベッドだけの独自の技術で生産しています。一本の鋼線がつながって作られている、「高密度連続スプリング® マットレス」はカラダを広い面でしっかりと支え、寝心地のよさにつながる自然な眠りのカタチをつくります。

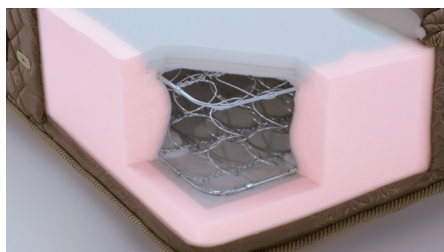
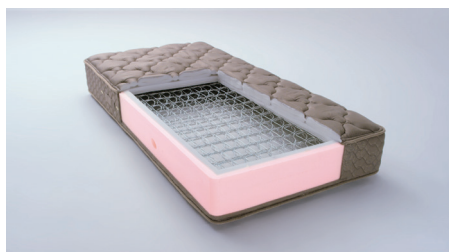


日本で唯一の技術、「プロ・ウォール」。



日本で唯一の技術が実現した「プロ・ウォール」。

マットレスの周囲に独自技術・コールドキュアフォーム一体形成を施すことで、強固な耐久性を確保して、マットレスの端の沈み込みを抑えることに成功しました。マットレスの面積を最大限にいかす独自技術が、これまでの眠りを超えるワンランク上の眠りへ導くことに成功しました。



設備にこだわり、国内一貫生産される羽毛ふとん「JOORYU」。



「JOORYU (じょうりゅう)」は自社で設けた高い品質基準を満たした安心と安全な羽毛ふとんです。ダウンは、ポーランド、ハンガリー、カナダ、その他良質な水鳥が育つ地域の原毛を使用し、輸入から加工までフランスベッドの静岡工場で一貫生産しています。



上質なデザイン、厳しい基準をクリアする機能性を兼ね備える「電動ベッド」。

インテリアベッドで培った上質なデザイン、そして福祉・医療の現場で安全・安心に利用していただくための厳しい基準をクリアする機能性。細部にまでこだわる日本製ならではの設計で、「電動ベッド」をつくり続けてきたフランスベッドだからこそ、両方を兼ね備えることができます。



常に、その時代に必要とされる、いままでなかったものづくりを続けています。

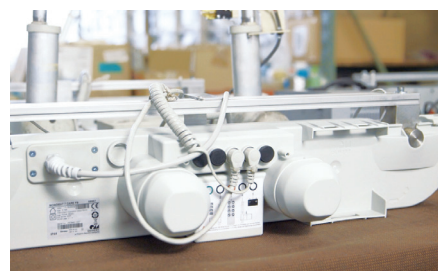
マットレスに除菌という新しい概念をつくる、業界初の除菌マットレス「キュリエス・エージ」の開発。飼い主とペットが家族の一員として、より心地良く暮らせる住空間作りを目指したペット向けの新ブランド「フランスペット」の立ち上げなど、常にその時代に必要とされる、ものづくりを続けています。



妥協しない、 徹底した品質、環境へのこだわり。

国内外の規格認証を取得し、安全な製品づくり。

フランスベッドの病院・介護用ベッドをつくる工場は、顧客満足の向上と品質マネジメントシステムの継続的な改善を実現するための国際規格、ISO9001や安全で有用な医療機器の継続的な製造・供給を目的とした、医療分野における品質マネジメントシステムの世界標準規格、ISO13485の取得など厳格な基準をクリアした環境でものづくりを行っています。



独自のFES規格を設け、厳格に試験を行っています。

フランスベッドでは日本の国家規格であるJIS規格よりも厳格な「FES規格」を設けています。スプリングや詰め物など製造に関するすべての素材から完成した製品にいたるまで、ひとつひとつに高い基準が設定されています。スリープ研究センターで行われる耐久性などの様々な試験を行うことで「フランスベッド品質」の安全な製品づくりが行われています。

「FES規格」= FRANCEBED ENGINEERING STANDARD

【試験項目の一例】

- ・素材のひっぱり強度試験
- ・素材のねじり試験
- ・布地の引裂試験
- ・8万回強打試験・ローリング試験・体圧分布試験



●安心の日本製マーク

このマークのついた商品は国内工場で生産し、万全の品質管理で安心と安全をお届けします。

住環境に対する取り組み「F☆☆☆☆」。

フランスベッドでは、ホルムアルデヒドなど揮発性有機化合物の使用が厳格に規制された2005年の改正建築基準法が定める最高基準と同等の「F☆☆☆☆エフ・フォースター」を導入し、ベッドフレームや家具を製造。使用するすべての塗料、接着剤、合板などひとつひとつに証明書の提出を義務付けるなど管理を徹底しています。また、EUが施工する有害物資規制「RoHS(ローズ)指令」への対応など国内外の規格に対応した安全な製品づくりに努めています。



ホルムアルデヒド低減の最高基準



●社内基準F☆☆☆☆

このマークのついた商品はフランスベッド社内基準F☆☆☆☆で作られた住環境と健康に配慮したベッドです。

日本初、エコマーク認定マットレスの開発。

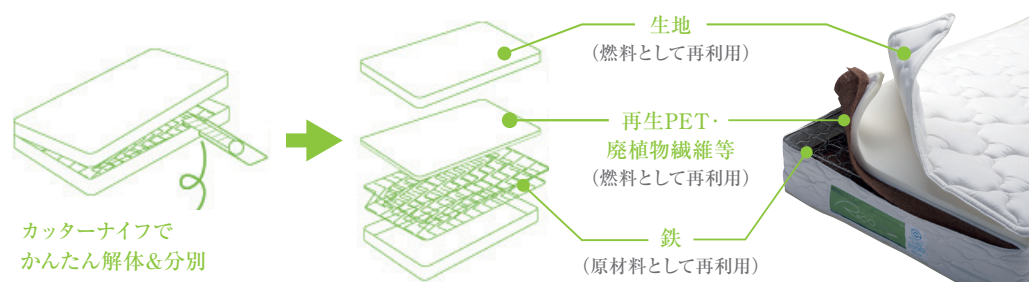
フランスベッド独自の製造技術を用いて国内工場で製造されるエコマーク認定スプリングマットレス「リコ・プラス」。廃却時に分解・分別が短時間で容易に行える構造で、スプリングや生地、詰め物それぞれがリサイクル可能。また、材料には再生PET樹脂や廃植物繊維を使用することで、資源の有効利用に配慮しています。

エコマーク認定 スプリングマットレス 「リコ・プラス」



【カッターナイフでかんたん解体&分別】

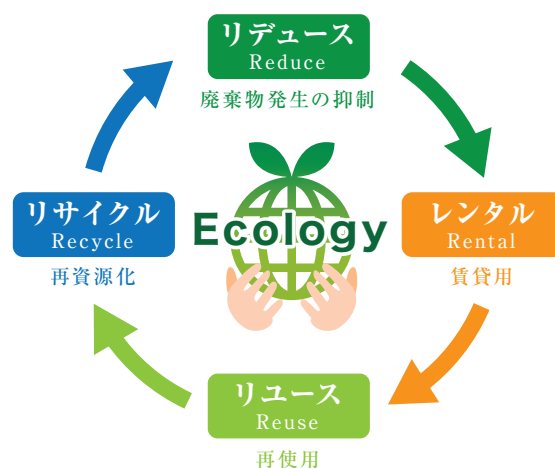
廃棄時には、マットレス側面を切るだけで簡単に解体できます。解体後、スプリングや詰め物の材料それぞれは独立しているため簡単に分別でき、すべてリサイクル可能です。



持続可能な社会への取組み。

■ フランスベッドのエコプロダクツ

循環型社会を構築していくためには、リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle) の3Rが重要です。フランスベッドは、リデュース (廃棄物の発生抑制) のために、安価な使い捨て商品ではなく、長期間使っていただけるような高品質商品のご提供に努めています。リユース (再使用) を促すために、レンタル事業と中古販売を連動した取り組みによって再使用率を高めています。リサイクル (再資源化) の視点から、開発の段階からリサイクルが可能な素材を採り入れるとともに、再資源化を考慮し分解・分別しやすい構造にしています。



■ 破棄抑制につながるレンタルサービスを拡充

ライフスタイルや価値観の多様化と共に、生活用品を「所有」することから「使用」することに価値を見出す方たちが増えています。「買うより借りる」「使いたいときだけ利用する」という方が増えており、「所有」しなくても十分満足のいく生活を実感しています。また、こうした人たちのニーズに対応して、様々な業界でレンタルビジネスも急速に普及しつつあります。フランスベッドでも、生活用品を「使用」する新しいライフスタイルと価値観を持つ方のために、レンタルサービスに取り組んでいます。

【レンタルサービス展開】

- ・一般個人向け
- ・デベロッパー向け
- ・ホテル・旅館向け
- ・家具付賃貸マンション向け
- ・ハウジングメーカー向け
- ・介護医療施設向け

社会貢献活動

高齢化社会における支援活動。



公益財団法人
フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団

<http://www.fbm-zaidan.or.jp>

フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団では、在宅ケアや福祉機器等に関する事業や研究に対して助成を行うほか、講演会やシンポジウム、学会や研究会の開催などにも幅広く支援しています。また、高齢者のスポーツや文化・芸術活動等、健康づくりや生きがいづくりに関する催しへの助成や会報誌の発行を通じて、活力のある長寿社会の実現を応援しています。



研究会



講演会

後世に家具文化を伝えるために。

一般財団法人 家具の博物館

<https://www.kaguhaku.or.jp>

「家具の博物館」は、創業者の池田實の発起により、フランスベッドグループ各社の協力により1972年11月1日に開設しました。2005年にフランスベッド株式会社東京工場敷地内に移転。2011年4月1日に一般財団法人となりました。急速な住環境の変化によって、散逸しがちな家具を収集保存し、後世に伝えるために「家具の伝統-継承-創造」をテーマとして博物館活動を続けています。

収納具、照明具、暖房具、容飾具、飲食具、座臥具など収蔵資料は、1800点余り。約180点ほどを選び常時展示しています。



地域貢献として、作品展の開催。

「家具の博物館」では、毎年1回、昭島人物紹介展として所在地の昭島市で創作活動をされている作家の方の作品をご紹介します「作品展」を開催しています。



エッグアート作品展



コパークラフト作品展



ミニチュア家具作品展



FRANCE BED CO.,LTD.